

文系の卒論体験記

現在の所属 : 社会文化科学教育部2年
学部時代 : 文学部 歴史学科 西洋史研究室

・私の卒論のテーマ

「中世イタリア都市ルチェーラにおける異文化共存の実態」
十字軍理の時代、宗教的衝突の一方で、ムスリムとキリスト教徒が共存していた地域が存在した。そうした地域での共存の実態は？共存が可能であった由とは？

・大まかな流れ

テーマ決め	先行研究の乏しい分野を開拓することは学部生の力では難しい場合もあります。興味関心と現実、折り合いをつけながら探しましょう。
↓	
主要参考文献探し	主要参考文献や関連文献を読み漁り、課題に対する知識を深めていきます。ただの大掛かりな調べ物にならないよう、課題意識を持って取り組みましょう。
↓	
文献調査	
↓	
執筆	そしていよいよ執筆。課題として設定した「なぜ？」「どうして？」に対する回答(もしくは仮説)を、エビデンスを積み上げて組み立ててゆきます。時間は限られているので計画的に執筆しましょう！

・注意点

・自分の研究の位置づけを知ろう

これまでの研究はどのように課題にアプローチしているのか、自分の研究は先行研究に対してどのような点で新しいのか？

・困ったら先生や院生に相談しよう

ヤバくなったらすぐに指導教員に相談しよう。「進んでないし怒られるかも」と先生を避けていたら手遅れに。虫歯の治療と同じで、怖がって対処を後回しにすると取り返しがつかなくなることも…。